

日本専門家ワークショップ 「現代日本の文化・社会へのアクセス」 募集要項 2012

この度は、日本専門家ワークショップにご関心をお持ちいただき、ありがとうございます。
以下の内容をご確認の上、ぜひ参加をご検討ください。

本ワークショップへの参加を希望する方は、必要書類一式を郵便で国際文化会館へご提出
ください。2011年9月29日(木)必着です。書類は郵送のみの受付となります。(Fax、
E-mailによるお申し込みは受け付けておりません。)

本ワークショップに関する質問、及び申込書類の宛先は以下のとおりです。

〒106-0032
東京都港区六本木 5-11-16
国際文化会館図書室
Tel : (03)3470-3213
Fax : (03)3475-0424
E-mail: infolib@i-house.or.jp
URL: <http://www.i-house.or.jp/jp/library/top.htm>

1 日本専門家ワークショップとは（概要）

国際文化会館と国立国会図書館は、日本国外の日本研究者及び日本情報の専門家から希望者を募り、日本専門家ワークショップ「現代日本の文化・社会へのアクセス」を実施します。

選考で選ばれた参加者には、2012年2月14日から22日までの日程で、日本でのワークショップにご参加いただきます。

第2回目となる今年度は、人文科学（歴史・文学・芸術・思想・宗教）をテーマとし、日本の人文科学分野の情報探索に必要な知識及び技術の習得と特定の専門分野に関する知見を深めることを目的としたプログラムとなっています。合宿型のワークショップとして参加者は全員国際文化会館に宿泊し、同じプログラムに参加します。

応募資格や応募方法等の詳細は、必ず以下の項目でご確認ください。

2 日本専門家ワークショップの目的

近年、日本研究の対象としてポップカルチャーへの関心が高まる一方、東アジア地域研究では中国・韓国研究が台頭するなど、日本研究を取り巻く環境は大きく変化しています。このような現状の中で、効果的に日本情報の入手・提供・発信を行い、新しい時代に活躍する次世代の日本専門家を育成することが、将来的な日本研究の発展のためには不可欠です。

本ワークショップは、海外で日本研究を専門とする研究者やリサーチャー等と、日本情報を扱う図書館員や学芸員等の専門家の知識及び技術の向上を支援する目的で実施します。同時に、各国の日本研究者や日本情報専門家間の緊密な人的ネットワークの構築に寄与することを目指します。

3 対象

日本国外で日本情報を入手・提供・発信する立場にある者を対象とします。若手の日本研究者（大学院生も可）、日本情報の提供・案内に関する業務経験のある図書館員及び学芸員等を含みます。

（1）応募資格

① 以下のいずれかに該当する者。

a) 日本国外の若手の日本研究者。（大学院生も可）

- b) 日本国外の日本研究・調査機関や図書館・博物館等での調査・業務経験がある者。
- ② 日本語による議論が可能な語学力を有する者。
- ③ 所属機関からの推薦を受けた者。
- ④ ワークショップの期間中、国際文化会館に滞在可能な者。
- ⑤ 以下のいずれにも該当しない者。
 - a) 日本在住者。
 - b) ワークショップの期間中、別のプログラムで日本に滞在している者。

(2) 募集人数

10名程度

4 ワークショップの内容

本ワークショップは、すべて日本語で行います。言語に関するサポートはございません。

(1) 概要

本ワークショップは、人文科学（歴史・文学・芸術・思想・宗教）分野をテーマとし、以下の3つの要素で構成します。

① 情報探索の知識・技術の向上

演習を取り入れながら、日本語資料・情報の探索技術の向上を図る。

② 日本国内の研究機関・図書館・資料館等での実地調査

参加者各人が興味を持つテーマについて、事前に作成し応募時に提出したレポート（調査計画）に沿って、研究機関や資料所蔵機関等における実地調査を行う。

③ 実地調査成果報告会

参加者各人が②の調査結果をまとめ、報告会にて発表を行う。なお、これらの調査成果は後日出版物として刊行、またはインターネット等で公表される可能性がある。

(2) 日程

2012年2月14日～2月22日

日程	午前	午後
2/13 (月)	参加者来日	
2/14 (火)	オリエンテーション	<基礎科目 2> 日本研究ジャーナル編集者による講義
	<基礎科目 1> 基調講義	
2/15 (水)	<基礎科目 3> 基礎的調査ツールの紹介と実習	<人文科学 1> 日本史学の研究手法及び情報探索法
2/16 (木)	<人文科学 2> 人文科学分野の調査ツールの紹介と実習	<人文科学 3> 日本文学の研究手法及び情報探索法
2/17 (金)	<基礎科目 4> 国立国会図書館の近現代日本政治史料及び和古書の紹介と見学	<人文科学 4> 日本美術の研究手法及び情報探索法
		<補助科目> 国立国会図書館利用案内 (任意参加)
2/18 (土)	休日	
2/19 (日)		
2/20 (月)	図書館・資料館・研究機関等実地調査	
2/21 (火)		
2/22 (水)	意見交換会	実地調査成果報告会 (公開)
	実地調査成果報告会準備	
2/23 (木)	参加者離日	

* 講義内容は予定であり、若干の変更を行う場合があります。

* 各科目の「実習」では、パソコン (OS は日本語版 Windows) を使用します。

(3) 場所

国際文化会館 (東京都港区六本木)、国立国会図書館 (東京都千代田区永田町) 及び希望する首都圏の調査実習機関。

5 費用

(1) 往復の飛行機代を支給します。

エコノミークラス、最短距離限定。（上限は地域により異なります。）

(2) 国際文化会館への宿泊費（全日朝食付き 10 泊分）を支給します。

（上記以外への宿泊はご遠慮ください。）

(3) 旅行保険及び日本滞在中の食費、及び交通費は、各自で負担してください。

6 申込方法

(1) 申込期限・申込先

本ワークショップへの参加を希望する方は、必要書類一式（A4 判またはレターサイズ）を郵便にて国際文化会館へご提出ください。2011 年 9 月 29 日（木）必着とします。

<提出先（事務局）>
〒106-0032 東京都港区六本木 5-11-16
国際文化会館図書室

(2) 必要提出書類

① 応募者が提出する書類

a 申込書（すべて記入し、日付及び署名を明記のこと）

*以下の URL から定型書式をダウンロードしてください。

<http://www.i-house.or.jp/jp/library/JSW2012/ApplicationForm.pdf>

b 日本語能力を証明する書類

日本語能力試験等の証明書のコピー、または日本語教師からの推薦状

② 推薦者が提出する資料

応募者の所属する機関からの推薦状

*以下の URL から定型書式をダウンロードしてください。

<http://www.i-house.or.jp/jp/library/JSW2012/RecommendationForm.pdf>

7 選考

(1) 選考方針

提出された書類をもとに、日本でのワークショップ参加の必要性、研究・業務の業績及び内容、将来性、日本語能力等を総合的に考慮し、選考委員会で採否を決定します。

(2) 選考スケジュール

申込期限 : 2011年9月29日(木)

選考結果通知 : 2011年11月15日(火)

8 その他

(1) 個人情報、本ワークショップに関する業務にのみ利用し、他の目的には一切利用いたしません。

(2) 提出された書類一式は、一切返却いたしません。

(3) 選考理由についてのお問い合わせには回答いたしません。

(4) 問い合わせ先

本ワークショップに関する質問、及び申込書類の宛先は以下のとおりです。

〒106-0032

東京都港区六本木 5-11-16

国際文化会館図書室

Tel : (03)3470-3213

Fax : (03)3475-0424

E-mail: infolib@i-house.or.jp

URL: <http://www.i-house.or.jp/en/library/top.htm>